

地区総体が終わりました

西都・児湯地区中学校総合体育大会が2週にわたって実施され、悲喜こもごもの結果となりました。

野球：1回戦勝利、2回戦敗退

男子バスケットボール：1回戦敗退

女子バスケットボール：準決勝敗退、3位

女子バレーボール：1回戦勝利、2回戦勝利、準決勝・3位決定戦敗退、4位

男子ソフトテニス：団体戦優勝、個人戦4ペア県大会出場

女子ソフトテニス：団体戦1回戦勝利、2回戦敗退、個人戦は2ペア県大会出場

水泳：3名県大会出場

陸上：1名県大会出場

3年生としては、中学に入学して2年2ヶ月練習に打ち込んできた結果、願ったとおりの優勝を勝ち取って歓喜した生徒もいれば、思わぬ敗戦となり悲哀を味わった生徒もいました。県大会に出場する部はあと1ヶ月間悔いの残らない練習をして本番を迎えてほしいと思います。地区大会で悔しい思いをした生徒は、次のステージ（他の大会や高校生になって）でその思いを晴らすことや、次の目標（他のことや受験）を達成することを目指してください。勝ち負けの嬉しさ悔しさを含めて中学での部活動で培ったものが、3年生の将来の糧となることを願っています。

1、2年生はこの大会、そして先輩の姿から学んだことがたくさんあったと思います。それをこれからの2年間、1年間の部活動に生かしてください。まだ、新チームになっていない部もありますが、1、2年生チームの目標を決めて、その達成のために心技体バランスよく高めていってほしいと思います。まずは昨日の自分より今日の自分が成長することを目指してください。

女子ソフトテニス団体戦の様子



マスク着用について

新型コロナウイルス感染防止のためのマスク着用が、これからの時期は熱中症の心配もあるため緩和される傾向になっています。本校でも①登下校、②体育の時間、③部活動などでマスクを外してもよいこととしています。ただし、「会話を行わない」「身体的距離（2m以上）が確保できる」というような条件があります。この条件では、学校での教育活動の中で、上記の①②③と息苦しい場合意外にはマスクを外せる場面があまりありません。しばらくは通常はマスク着用の指導を継続していきたいと考えています。ご理解ご協力をお願いいたします。なお、心配なことがございましたら、学級担任を通してご相談ください。

SNSの適切な使用を

残念なことですが、本校でもこれまで友達関係のトラブルで苦しい思いをした生徒がいます。それに輪をかけるのがSNSの不適切な使用です。口では言えない言葉を（口で言う場面を設定するのが難しくても）SNSでは簡単に相手に投げつけることができます。そのため、投げつける側はその言葉がもつ重大さが分からないことが多いようです。学校でも折に触れ指導しており、7月に「ネットトラブル防止教室」も行う予定ですが、ご家庭でも十分指導していただきますようお願いいたします。

なお、学校ではハラスメントの防止にも取り組んでいます。保護者、生徒が、学校が関係するパワハラやセクハラといった問題や困りごとがあればご相談ください。本校では、原口朗先生、田中攝先生の二人が相談員となっています。もちろん、まずは相談しやすい先生に話されても結構です。

学校の日程や様子、連絡をホームページに載せています。生徒が登校する日は更新しますので、ご覧ください。

